

1 学校教育目標
自ら学び、考え、正しい判断のもとに行動できるよう豊かな人間性を身に付けた心身ともに健康な生徒を育成する。 (1)学級・学年や学校での集団生活を通して、市民生活や社会人としての基本を身に付けた生徒を育成する。 (2)自己の目標を実現する為、学業や資格取得に主体的・積極的に取り組む生徒の育成に努める。 (3)明るく、素直な心を持ち、人を思いやることのできる徳知体のバランスの取れた人間形成に努める。

2 本年度の重点目標
学習活動や学級経営・ホームルーム指導を通じた集団・仲間づくりや部活動やインターンシップ(キャリアチャレンジ)・実習・体験活動を通して「わかる・できる喜び・学ぶ楽しさや役に立つ・認められる喜び」を実感させ「一人ひとりが自信を持ち社会に必要とされる・貢献できる喜び」を体験させることを教育の指針とする。 (1)学力の向上 (2)生徒指導と心の教育の推進 (3)進路保障 (4)部活動・生徒会活動・ボランティア活動・図書館(読書)活動の促進

3 自己評価総括表		評価基準			評価	成果と課題
評価項目		A:できている	B:概ねできている	C:できていない		
大項目	小項目	評価の観点	具体的目標	具体的方策		
学校経営	建学の精神と教育目標・方針	学級経営への教育方針の反映 保護者との連携の促進	基本的な生活習慣の確立と健康管理や安全指導の充実を図る	・生徒一人ひとりの個性を把握し、学習面・生活面での意欲の向上に努める ・連絡網(安心メール)・ホームページ・電話自動受付等を通して保護者と連携を取り合う。	A	個人面談や各種の集会・講話・イベントの場面を通じて、生徒一人ひとりの学習・生活面も含めた個別性の把握に努め、指導・改善を行った。 学校行事や各学年のイベント等の案内も保護者の協力もあり、前年度より改善が進み、成果が見られた。
	教育環境の整備	教育環境整備を点検し、危険箇所等の早期改善を図る	教室、特別教室の安全点検と補修及び周辺環境の整備・充実を図る	・適宜、施設を点検し、危険箇所の補修・改善を行う	A	校舎間に公道があるが、登下校や授業移動では事故なく過ごせた。今後も安全指導を心がけたい。
学力向上	わかる授業への取り組み	生徒の理解度の把握	「授業への取り組みが消極的」以外の生徒の割合90%以上を目指す	アンケートの実施 年度末に、アンケートを実施し、その結果を分析し、次年度に生かす資料としていく。	B	授業態度では普通以上が84.1%と大部分が取り組んでいた。また、授業内容が分かりやすいでは、まあまあ当てはまる以上が68.3%あったが、そうでない感想も24%あり今後の課題である。学習時間でも1時間未満が48.9%と過半数であるとともに、その原因としてスマホ等の使用時間で3時間以上が48%あり大きく影響していると思われる。
	学年の取り組み	学習習慣・基礎力の定着と検定等の合格	漢検、数検、英検、朝・夕の課外や宅習ノート、個別指導	朝・夕の課外や宅習ノート、検定前の重点指導を行う。 昨年度から実施し始めたeラーニングの経験をもとに更に積極的活用を図る	B	新天皇の即位式や新型コロナウイルス感染予防による休校など通常の日程が消化できないため、授業では教師や生徒とも大変苦労した。eラーニングや検定では、生徒たちが積極的に取り組み、良い結果を残すことができた。
キャリア教育 進路指導	進路目標の実現	・進路実現につながるキャリア教育の実践と基礎学力の養成 ・資格取得の推進 ・教育改革への対応	・進路講演会やガイダンスを実施し、職業観の育成と適性の模索をしていく中で進路の意識を高める。 ・社会人として対応できる「挨拶」を含むマナーの向上 ・オープンキャンパス及び企業見学の参加率100%を目標とする ・教育改革における大学入試共通テストや学びの基礎診断などの情報収集に努め教職員および生徒に還元する。 ・英語4技能評価やPDCAサイクルを踏まえたアクティブラーニングを取り入れた授業改革を検討する。	①LHRの活用や総合的な学習の時間との連携を図り、進路学習に取り組んでいく ②各学年、講演・ガイダンスを年3回以上の実施 ③e-learning(すらら、スタディサプリ)の活用 ④進路相談、個別面談の充実 ⑤外部講師による面接指導の実施 ⑥進路情報の提供 ⑦資格取得によるAO、推薦入試の活用 ⑧総合探究コースと総合ビジネス科ではインターンシップを通して職業体験を実施 ⑨各教育サポート業者からの情報収集や、研修セミナー等に参加し、本校の教育と生徒の実情に合わせた取り	A	①⑧総合ビジネス科のインターンシップに加え、総合探究コースではキャリアチャレンジや職業講話により探究活動の中で進路学習を深めた。 ②⑤:「充実」から「精選」のフェーズに移行 ③:システムの向上に伴い活用見直し ④⑥:今後も情報集約に努め、個々への丁寧な指導を続けていく ⑦各教科の協力で実績を上げている ⑨進路指導部をはじめ、管理職や教務部からも研修セミナーに参加し、今後の大学入試の変化や教育改革への対応を検討し

				<p>組みを検討・模索する。</p> <p>⑩これまで取り組みを強化してきた実用英語技能検定をはじめとする外部試験を比較検討する。</p> <p>⑪資格取得の促進と基礎学力向上を目的とする外部試験の導入。</p>		<p>た。</p> <p>⑩英検に加え、GTECの取り組みを検討中</p> <p>⑪資格取得に関しては、英検・数検・漢検・各種商業検定において受験者数の増加と合格実績を残すことができています。英語④技能に対する取り組みは授業の中での取り組みと全校生対象の単語テストで強化していく。</p>
	一人ひとりの進路目標達成	<p>・個に応じた進路指導の推進</p>	<p>・多様化する生徒の進路目標への対応の推進</p> <p>・多様化する入試制度への対応</p> <p>・課外、資格対策の充実</p>	<p>①オープンキャンパス等への積極的参加</p> <p>②入試傾向の分析と対策の充実</p> <p>③課外、模試、学習合宿等の実施</p> <p>④校内外の進路ガイダンスへの参加</p> <p>⑤組織的な個別指導、面接指導の充実</p> <p>⑥小論文・作文指導の充実と負担軽減に取り組む</p> <p>⑦企業や各種上級学校の情報を早期に知る</p>	A	<p>①④：希望を把握しての参加を促す声掛けで積極的な行動につながった</p> <p>②情報と過去問等による対策で進学・就職ともに成果があった</p> <p>③長期課外では模試の対策を目的とする内容の検討・改善が必要である。学習合宿のあり方を見直し検討する時期かもしれない</p> <p>⑤進路部と学年団に加え職員全体で面接指導に取り組んでいる。指導内容の一貫性を高める必要がある。</p> <p>⑥小論文指導セミナーに国語科以外からも参加し、担当やルールを決めるなどの改善がなされた。</p>
生徒指導	交通ルールの徹底	交通マナーの向上と登下校時の交通事故防止	登下校時における学校周辺の一列励行と盗難予防の意識を高めるための二重ロックの徹底。また、校舎間における公（市）道の横断の安全性を高める。	登下校時の交通指導と二重ロックの点検を定期的に行い、普段から校舎間の移動に対する注意喚起を行う。	B	一時停止標識の遵守、自転車の左側通行、一列励行については、毎朝の登校指導の中で、生徒の意識に定着しつつあると思われるが、教員がいないところでは守れていないこともある。二重ロックは徹底されていない。定期的な点検回数が少なかった。
	校則に対する規律意識を高める	校則に対する自主的な規律意識の有無	SNSなどのインターネットを介した誹謗中傷等による生徒間の問題を減少させる。	「SNS」や「薬物防止」等の講話を実施し、生徒の防犯意識を高めるようにする。	C	SNS講話は4月に1年生に対して実施した。薬物講話は平成30年度に実施済みなので、令和3年度に実施予定である。防犯意識を高める目的で実施しているが、SNSが身近なツールとして存在しているので、防犯意識がなかなか高まらない。
人権教育の推進	職員の人権意識向上	生徒の人権に配慮する力の向上	校内研修の充実	人権問題に関する知識を充実し、考察を深める研修を主催者が行うとともに、校外での各種研修への参加を促す	C	さまざまな生徒が入学してくる中で、主催者や特別支援、担任等関係者で共通理解し、生徒たちに指導したが、まだまだ不十分であり、研修等の充実の必要性を感じた。
	生徒の人権意識向上	他を尊重する態度の育成	研修の充実、日ごろの教育活動における指導の充実	校外の講師を招いた研修会を開催。また、集会、LHRなどの機会を利用し、主催者等が講話などを行う。	C	即位に伴う休日で行事が圧迫され、さらに多学科による日程調整が難しく研修が十分できなかった。新型コロナウイルス感染に伴う差別や増加してきたLGBTなどへの対応も指導していきたい。
いじめの防止等	いじめの実態把握	いじめの早期発見に努める	いじめに対する学校としての方針を徹底すると同時にそれらを生徒に周知する機会を設ける。	いじめをしない、させない、そしていじめを許さない学校としての方針を集会等で話す。	B	担任から学年主任、生徒部・管理職・委員会への順番で事態の把握・問題解決を行っている。また、アンケートの実施を通して、

						多様な方法により把握できるようにした。
	指導体制の整備	各部署との連携を図り、いじめを未然に防ぐことのできる体制づくりに努める。	常日頃から担任、学年主任、そして教育相談、スクールカウンセラー、生徒指導部の連携を図る。	いじめ防止対策委員会を機能させ、指導体制の組織化を図る。	B	組織化はできている。連携や実態把握ができるかにより重点を置いていきたい。
図書館教育	読書活動の充実	読書活動の推進	生徒が主体的に図書館を利用し読書活動ができるよう環境を整える。	生徒のニーズに応じた書籍を仕入れる。定期的に企画を考え、図書館に興味を持ってもらえるようにする。	C	新たに書籍を仕入れることはできたが、生徒に貸し出しができる状態にすることはできなかった。教室棟と図書館棟に距離があるため、本の貸し出し方法については移動図書館などのサービスをする必要があると感じた。
	各教科との連携	蔵書に偏りなく豊富な資料の確保	どの教科の授業でも、調べ学習等で図書館を利用できるように、幅広い資料をそろえる。	現在、図書館にある資料が古くなっていないかを確認し、必要に応じて資料の更新をする。	B	情報が古く、調べ学習でも使えない資料については取り除くことができた。次年度以降、新たな情報にすぐに対応できるようにし、最新の資料をそろえておくようにする。
学校保健	心身の健康に興味・関心を持ち、主体的に健康で安全な生活を送ることのできる生徒を育成する	心身の健康への興味関心の向上と、健康管理・傷病予防の為の実践力育成	①生徒が自身の健康状態を把握・保持増進する機会を設ける ②心身の健康に対する興味関心の向上と正しい知識の習得 ③生涯にわたり自他共に健康で安全な生活を、主体的に送るための知識習得や自尊心向上を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・保健調査票や健康診断の結果などをもとに個別指導・校外連携を行う ・保健室来室時、再発の予防や適切なセルフケアの方法を指導する ・配布物や掲示物等を活用し、季節に応じた保健便りの発行及び校内掲示物の工夫を図る ・生徒保健委員会活動を通し、健康に関する情報発信の機会を設ける ・生徒対象の普通救命講習(修了証の交付、講師:消防署)を年1回実施 ・外部講師等による講演を実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保健調査票や健康診断結果などを基に生徒へ個別対応を行い、必要時、教職員及び保護者との連携を図った。また定期健康診断の事後対応として、治療や精密検査等が必要な各家庭に受診勧告し、受診結果に応じた対応を行った。今後は学校健診及び事後対応の受診率向上を図りながら、教職員・保護者との連携強化に向けて取り組む必要がある。 ・生徒自身が体調不良・負傷の原因を考えセルフケアや予防に繋がるような対応を心掛けた。しかし、複数生徒来室時には細やかな対応が難しく、今後は限られた時間でも理解を促せるよう工夫し、生徒のセルフケア能力向上を図りたい。 ・今年度は保健便りを2・3学期に3回発行、その他国や県からの心身の健康に関する冊子等を配布。また、校内2ヶ所に写真社新聞の記事やポスター等を掲示し、生徒への注意喚起や健康への学びが深まるよう働きかけた。今後は季節に応じた保健便り発行により力を入れ、正しい知識を得る機会を増やしたい。 ・生徒保健委員会では、「今日から君も美肌人間」をテーマに文化祭の催し物(体験型展示及び販売)を実施。皮膚生理やスキンケア、メイク等のおしゃれ障がいについて取り上げ、グリセリン石けんの販売も行った。今後も本校の現状に応じたテーマで、生徒主体の活動となるよう働きかけたい。 ・11/29に中央消防署職員による普通救命講習を実施、41名の生

					<p>徒が受講・修了証が交付された。今後も生徒の意識向上・知識技術取得のために講習の機会を設けたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/23 全校生徒を対象に、市役所と連携し、上領医師による性教育講演を実施。性感染症・妊娠予防等について講演を行い、性に関する知識や自尊心の向上を図った。今後も実施時期や講師を検討し、魅力ある講演を通し、主体的に生きる力の育成に繋げていきたい。 ・新型コロナウイルス対策として、生徒への手洗い・換気励行指導を行い、手指消毒液設置や校内消毒等対応を行った。今後も感染予防を継続して実施したい。B
学校環境の整備を行い、美化意識の向上を図る	環境美化の推進	<p>①清掃指導の徹底及び環境美化の意識を高める活動の推進</p> <p>②法に基づいた学校環境衛生の維持管理及び改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒整美委員による美化コンクールを学期ごとに実施 ・掃除用具の定期的な点検及び整備 ・床のワックスがけやカビ取り等日常清掃では対応が難しい部分の清掃 ・学校薬剤師の指導に基づき、環境検査・環境整備を実施し、改善を図る 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒整美委員による美化コンクールを学期ごとに実施。また、保健委員と共に各行事での清掃活動に取り組んだ。今後もコンクールと行事での清掃活動を続け、校内美化に対する生徒の意識向上を図る。 ・掃除用具の不備・補充等適宜対応した。長期休暇中には校内の水道・トイレを中心に巡回・清掃を行い美化に努めた。今後も適宜点検を行い、安全で清潔な環境維持に努めたい。 ・学校薬剤師の指導助言を参考に、環境衛生整備を図った。特に今年は毛虫の大量発生や新型コロナウイルスへの対応が必要であった。今後も関係法規に基づき継続して取り組みたい

<p>4 学校関係者評価</p> <p>学校長 進級卒業率は毎年95%以上を目標としており、今年は高校で95.9%（昨年93.4%）、専攻科では94.8%（昨年87.7%）と伸びた。（休学者を除く）4月～2月までの出席率（3月は休校だったため）は、高校97.1%（昨年97%）となっている。そして、精皆勤賞は45.4%と約半数の生徒達は無欠席であり、今年の卒業生は3年間皆勤が23.7%（昨年19.5%）もあり、1年次から頑張った。成績優秀賞は全学年で35.1%（昨年29.5%）でこれも全学年頑張った。次に各種検定（1級～3級合格者）では文章検定・漢字検定で298名、数学検定18名、文科省英語検定38名、介護初任者研修は2年5組の25名全員合格。総合ビジネス科では全商簿記検定32名、その他商業系の検定ですべて昨年度の数字を上回っている。</p> <p>部活動の表彰では、延べ198名以上の生徒が受賞している。（3月の休校で表彰できていない分があるため）これも昨年度より多くなっている。看護師の国家試験では卒業73名のうち60名の82.2%（昨年度79.2%）で少し伸びたが、13名不合格であり来年度100%を目指して頑張らせていきたい。既卒者については29名中8名の合格（27.6%）であり、一度卒業し働きながらの受験では毎年3分の1程度であり、現役で合格させないと厳しい。</p> <p>保護者アンケートの結果では、全体としては大体できている（A・Bの評価）72.8%だが、CからEのどちらとも言えないからできていないまでの方が27.2%おられた。教師の自己評価では、A・Bにあたるのが94.2%で教師としては大体できているという感覚を持っているが、保護者の方々は7割超という評価となっている。学校運営の教育方針で余り伝わって来なかったという保護者が31.9%でしたが、教師の方ではBの大体できているという評価が67.3%であった。学校の生活の様子・保護者との連携で保護者の方は37.1%ができていない、教師の方は60.4%は大体できていたという評価であった。学校行事への参加は保護者は31.7%参加できていないということであった。子どもの適切な評価：教師の方ではA・B評価では56～57%であった。進路指導：教師の方が全学年で60.3%ができていたと評価。学習評価：分かりやすく示している、適切に評価できているの項目では教師は50～60%ができていたと評価しているが、保護者の評価で分かりやすい授業でなかった35.6%、授業の理解が充分できていない35.2%、家庭学習においては49.5%ができていないという回答を得た。教師の方では分かりやすい授業ができていた60.3%と評価している。生徒指導：いじめ、悪い行動への指導では35.1%があまりできていなかったとの評価で、教師では大体できたが半分位であった。特に生徒指導の面では懲罰にあたる事案13件（深夜徘徊3件、外泊に伴う飲酒や飲酒の同席4件、SNSがらみの画像アップや暴力事案2件、無免許の車に同乗1件、カンニング・再試の無断欠席他3件）であった。その他：学校行事や授業参観に保護者の方の半分ほどが参加できなかったとの回答であった。すべての項目を総合すると70.5%の保護者の方がまあまあできていたという評価であったが、保護者の方もほぼ仕事があり忙しくて行事への参加が厳しかったのではないかと判断している。各学年の保護者からのご意見「体育祭の片づけを部活動生以外も使って行えば早く終了するのではないか。」校長：部活動に未加入の生徒が1・2年で63.3%ほどいる。体育祭は体育科が計画しているが全員で動かしても、倉庫搬入で渋滞し結果的にはあまり早くならないのではないかと思う分もあるが、体育科にこの意見を伝えておく。「寮で大会動画を見るためWi-Fi環境の整備、寮生のため学校の状況をホームページにアップしてほしい」校長：今、学校でやっていることは頻りにホームページにアップはしている。学習用でWi-Fi環境を整備したが大会の動画を見るためには許可していない。もし許可するとその他の様々な問題も出てくる。「学校から連絡があったため17時以降、学校に電話したら留守番電話となり連絡が取れないため、心配した」校長：緊急な連絡であれば教師から再度連絡するため、緊急な要件ではなかったかと考える。しかしながら、電話を取れるようにすると働き方改革の件もあり、先生方には早く帰ってもらわないといけいのであるが、現在どうするか悩んでいるところである。「学校の方針や思いが伝わってこない。31.9%」校長：学校の方針や思いは年に1回、1年生には教育目標を配布して、2・3年生には始業式や終業式の中では言っているが、どうしたものか悩んでいる。「子供が孤立化して心配している」校長：1年学年主任にも尋ねると「誰のことかびんとこない」ということで、こういった孤立化なのか、いじめのような状態でぼつんとしているような状況ではないと思うが、今現在ではわかっていない。「宿題をもっと多く出してほしい、家庭学習を全くしない。49.5%」校長：宿題や課題は出しているため、やっていないのではないかと。子どものアンケートで「携帯を一日どの位使用しているか」4時間以上41.6%、3時間以上28.3%、2時間以上22.8%ここまでで90%を超えます。勉強以外でゲーム56.2%、テレビ20.9%、音楽14.3%これで80%を超えて形態を触っている。その結果、就寝時間が10時から0時が39.5%が一番多く、0時～1時が40.8%、1時～2時が18.4% これでも90%を超えるので、生徒達の就寝時間は遅いことが分かる。家庭での携帯のルールを決めるという話はしているが、なかなかできていないという事が分かった。「部活動の大会に学校のバスを使用できるようにしてほしい」校長：今年から先生方が運転できるオートマチックのマイクロバスを導入したので少しは改善できると考えているが、全部の大会にという事になると厳しい。「定期考査、授業内容、身についたかを適切に測れるものになっているのか。先生方同士のチェックも大事で、生徒が納得のいく評価にしてほしい」校長：各教科に伝えるが、生徒には6月ごろにアンケートをとっており、授業への要望が多い先生には管理職から注意喚起した。「学校のルールやマナーは理解しているが、昭和のやり方は時代にあわない。子どもの個性を伸ばす、一人ひとり向き合う状況を把握した取り組みをしてほしい」や「市内と地方の違いを考えて欲しい。コロナ対応も早い決断が欲しい」校長：コロナ対応は県の通知を受けて決定したためそんなに遅くは無かったと考えている。「試験の結果で実際の点数と違う。子供が分かったので良かったが、試験の日程や行事、午前中授業など分からない」校長：教師の入力ミスのことだと思いが、実際起きている。行事等は教頭から安心メールなどで細かく配信したり学年で文書を配布しているが、保護者に届いていないのかなと思う。「特進コースの進学の方針をもう少し考えた方がよい」校長：本校では生徒が国公立大学を希望すると言った時その指導を行っている。また、将来どういった職業に就きたいのか、そのためにはどういった上級学校に進学したらいいのかを調べさせて選択させる。そのため特進コースすべてが国公立進学するわけではない。このようなことから意見が出てきたのではないかと考えている。「授業態度が悪い子供が多い。3年間対応してくれなかった。」：アンケートの授業中の雰囲気では、先生によって違う。40.7%、真剣に取り組んでい</p>

る。66.7%、真剣に取り組んでいない。11.2%いた。先生によって違うというところで、この意見が出てきたのではないか。教師の指導力が問われると感じている。「階段のホコリが溜まっており、掃除をきちんとしてほしい」：昨年度もあったが、校舎の密閉度が高く隅にホコリが溜まっている。また、校舎が広がったことで割り当てる生徒の数が不足して十分掃除が行き届いていない。

<評価委員より>

委員：北区の中学校長に中央高校の印象などを質問した内容報告。「今年中央高校志望が一番多かった。生徒達の評価も高いのでないか。Web申請にも積極的に取り組んでいることへの評価」、「私学希望者も子供たちから増えて来ている中、本校の志望者も増えてくるのではないかと考えている。子供たちの個性を伸ばしていく多角的な授業が行われている。美術をやりたい生徒が本校に入学し、自分の好きなことを伸ばせて性格や顔色も良くなり感謝されていた。」「男女共学になってから非常に伸びてい学校でないか。職員も一丸となって学校運営にあたられていることを感じた。」「私学に対する要望として、公立にできない教育をしてほしい。親も躰ができなく、公立で厳しく言う親からクレームが出てくる。子供をきちんと躰できる教育は私学にしかできないので、それをやって欲しい。」など、中学校長から高評価されている。<要望>17:00以降は連絡が取れず心配したという保護者の意見があったが、通常の行動と違い何時までも家に帰ってこないなどについては、早めに警察に届けるように保護者へ伝えられてみてはどうか。携帯使用の弊害では、SNS被害防止講話を保護者向けに入学者招集日などでやってみては。詳しい事案を出して、その弊害を伝えられると思う。委員長：私も娘は他校で長男が中央の時、私学と県立高校の違いもよくわかる。学校の特徴を子供たちはSNSやインターネットから見て判断し選ぶ権利がある中、評価が高いことは喜ばしいことである。是非、今後も中央高校らしさ、特徴を持った学校であってほしい。

委員：先ほども言われたが男女共学になったところから生徒がよくなった。生徒が我が家の敷地付近でたむろしているとき、注意すると食って掛かっていたが、最近はそのような事もない。また、近所の女性からビルの隅で喫煙しているようなこともなくなったという話も聞いた。これからはますます続けていってほしい。委員長：生の声が聴けて大変良かった。最近、生徒の喫煙が少なくなっているという話を聞くが、昔よく聞いていた傷害や喧嘩・タバコなど表立った違反は無くなってきているが、一方でSNS関係によるいじめなど複雑な人間関係、ルールを破る子供たちが増えてきている。携帯を持たせないのは難しいのではないのかと思うので、家庭内でルール決め等が必要と思うので、引き続き学校もSNS関係の教育をして欲しい。

委員：1年間学校行事に関わってきたことや娘が特進コースに在籍していたことで感じたことでは、共働きで子供と話す時間が取れないという保護者の方が多いと感じた。私はアンケートを娘と一緒に書いたが、共働きだと学校の授業のことや先生の様子をどれだけ把握されているのかと感じることもある。1年次は入学したてで楽しさ一杯のためそれ程でもないが、2・3年になると少しずつ大人になり、携帯も普通に学校に持って行き、「みんなが使っているから使っている」とか、「それはダメ」と言うこと必ず「友達が」という。家庭でどうい話をされているのか分からないが、学校でも担任の先生からいろいろ言ってもらっていると思うが、それはダメだという指導もやっていただきたい。保護者としても、3年という短い在籍期間中、色々な学科コースがあるので、違う学科の保護者から「看護科はゆるいね」や「特進はしっかり先生から見られているね」などの話を聞くと、どこをどう見られてどう言われるのか分からないが、学校はそれぞれ同じ指導をしていただいていると思うが、そういう話を聞くと担任と保護者との隙間があるのでないかと感じる。それをどう埋めるかが課題だが、プリントを子どもに渡すとき見せない子が多く、保護者は「聞いてない」とか「貰ってない」とか言われるので、保護者へ郵送や、ホームページを見られない、メールの未登録などよく聞いたので課題がそこにあると思う。生徒達の仲は良いが、先生の好き嫌いの話や担任と生徒のコミュニケーションがどれくらいできているのか感じることもある。授業の内容で分かりやすい先生もいれば、黒板に黙々と書かれ生徒は写すのに必死という話を聞くと、質問しやすい環境を作るとか授業以外でも生徒とコミュニケーションをとってもらいたいのでないか。特進で「夢がない」とか「何をしたらいいのか分からない」という生徒が多いと感じたので、担任・進路の先生方が生徒にそういった話を聞いていただきたい。委員長：娘も卒業間際まで何をしたいのか分からないと言い、自分の学力で行ける進学先を見つけて将来これになろうと思うものが見つかった。なんとなく勉強し、なんとなく生活し、いざ自分の進路を決めなければならない岐路に立たされた時、戸惑ってしまう生徒が多いのではないのかと思う。将来の自分をイメージさせるとか学校卒業後にどういう自分になりたいのか、自分の目指すところを具体的にイメージできる教育、進路指導を中央高校にやって欲しい。

委員長：私はコロナウイルスが大変心配である。オリンピックも延期になり、このままいくと高校総体など生徒が楽しみにしているスポーツや文化行事が延期・中止になったとき、スポーツや文化クラブをするため入学してきた生徒達も多いので、その生徒たちのモチベーションをどう保っていけるのかが今年のキーワードでないかと考える。昨年は出席も多かったとか精進も多かったとありましたが、こういった社会状況であるため生徒たちが満足のいく高校生活でなくなるのではないかと危惧します。そのような中、学校がどうやってモチベーションを保っていけるのかと心配している。なかなか終息しない中、私のイメージではゴールデンウィーク明けかなと思うが、ある人に聞くと2学期からになるのではないのか言う。世の中不安ばかりであるが、そういったところを色々考えていただきたい。部活動も練習はできてないですか？学校長：今2時間という制限を付けて許可している。体育館は窓を開放し、陸上は本校グラウンドで許可している。水前寺競技場は使えるが、他校生も来ているため本校性がうつしたり貰ったりする可能性があるため許可していない。委員長：西合志グラウンドもあるが競技施設・設備の問題で生徒達もストレスが溜まっているのではないかと心配している。あくまでも開催されるであろうインターハイに向けて頑張ってください。選抜高校野球も中止になったが、練習を始めた野球は練習前に検温・手洗い、保護者の同意書および1～2時間の練習後、検温・手洗いなど徹底してやっていると聞く。水前寺競技場でなぜ練習をしないのか思っていたが、学校長の話聞き納得がいった。学校長：4月8日以降は3密を避けて始業式・入学式を考えている。入学式は生徒・保護者・教職員のみで来賓を呼ばず行う予定である。体育館は狭いができるだけ席同士をなるべく広くして実施予定です。今後、新型コロナ次第でどうなるか心配している。進路も2名が決まらなかったが、それ以外はすべて決定している。また、普通科総合探求コースを作って4年目だが、昨年度商品開発でいきなり団子選手権を行い、基本あんこ芋は必ず入れなければならないという条件のもと、チョコを入れたりして9種類の商品を作り農業公園などで販売した。今まで、生徒達に教え込む授業ばかりであったが、今回は自分たちでテーマを考え、社長や会計、企画は誰がするのかなどどう取り組んでいくかをすべて自分たちで考えておこなうため面白い。先日、リクルートの方が来られ先進的取り組みをされているという話をされた。また、遅刻をしないという事を生徒たちにしっかり言っており、道路で交通指導しながら生徒達を見ていると昔のような状態ではないと私たちも感じている。中学校に本校の教員が説明に行ったときに、「私学に行くなら中央に行け」と言っていた先生もいらっしやるそうで大変ありがたいと思う。

5 総合評価

- 学校運営において、拒育目標・方針の学級経営への反映、各種便りで学校生活の様子を知らせることや授業・行事参観の機会を適切に設定では概ねできているが、各種便りは保護者の手に届いていない状況がみられるなど改善の必要がある。一方で、生徒の適切な評価や教育環境整備は高く認められている。また、校舎間に公道があり、登下校や教室移動では事故なく過ごせたものの、今後も注意喚起と交通ルールの遵守を指導し、生徒・保護者・教職員の安全・安心に努めていきたい。
- 学習指導において、学力向上に向けた分かりやすい授業と学習内容の理解度及び指導方法や教材の工夫では一定程度の評価を得ているが、教授法が画一的で生徒の興味・関心を捉えられておらず、試験内容や評価が適切な形で実施できたか等の検証が必要と考えられる。一方で、生徒の学力把握と学習の様子や評価する項目や基準を分かりやすく説明・開示できている点は高く評価されている。ただし、家庭学習については課題・宿題は課されているものの、学習時間が極端に少なく、携帯・スマートフォンの視聴時間が長く、結果として就寝時刻も深夜となり、学習に専念できていない状況があり、今後の大きな課題として残る。
- 進路指導において、進路情報の提供や適切な指導は十分に行われており、高い評価を得ている。各学年ごとに進路ガイダンス・セミナーや講話を適宜実施し、進路実現に向けたインターンシップやキャリア教育の実践を通して、個に応じた指導とともに、基礎学力の養成・向上にむけeラーニング教材の活用や各種模擬試験受験、小論文指導、面接指導等を実施し、進路実現を達成できた。また、各種資格取得にも細やかな個別指導に取り組み、合格実績を向上できており、今後も全教職員で指導の一貫性を高め、生徒一人ひとりの将来を考えた進路保障に努めていきたい。
- 生徒指導において、基本的生活習慣の確立と交通ルール・マナーや学校・社会のきまりを遵守し、学校生活を送ることができていると評価されている。学校間の行動通行では交通量も多く、今後も指導し、注意を喚起し自転車の左側通行や一旦停止を徹底させ、事項防止と安全に努力していきたい。また、携帯・スマートフォンによるSNS講話を実施し、さらに防犯意識を向上させることに努めたい。
- その他、人権意識の向上と尊重する態度の育成では、多様な生徒が在籍する中で個性に配慮した対応を実践しているが不十分な面もあり、全教職員で研修も重ね、対応の柔軟性を持って挑みたい。図書館教育では読書活動が不十分であり、移動図書館サービス等を考案していきたい。学校保健では健康診断結果をもとに個別対応を行い、保護者との連携もできている。新型コロナウィルス感染症の拡大もあり、様々な感染症予防の教育の充実と啓蒙を図っていきたい。

6 次年度への課題・改善策

- 学校経営：学校教育目標・方針の学級経営への反映は職員会議で前年度の学校評価とともに前年度の各実績を報告し、各科・コースの取り組みとして検討していく事とする。また、各種便り（学校行事、学科・コースの取組状況等）の案内・情報は保護者へ今年度同様にホームページ掲載や学校メール配信や保護者・後援会運営委員会、総会、学級懇談会等の場面を通じて案内・説明し、情報提供を行い、事務部とも協力し、郵送することも検討していく。また、教育環境整備は安全点検と検証を行い、適宜必要な措置を取り、生徒・保護者・教職員の安全・安心を確保していく。
- 学習指導：学力向上と分かりやすい授業、学習内容の理解度把握及び指導方法や教材の工夫、評価方法の基準の明確化等については今後も各教科会にて生徒アンケート結果を基に検討を加え、より一層の改善を図るよう教師一人ひとりが務めることとする。また、新学習指導要領を受け、各教科・観点別評価に取り組み、生徒の学習状況と到達度の把握に努め、公正な評価となるように研鑽を積むこととする。
- 進路指導：1年次の早期より進路ガイダンス・セミナー・講話を取り入れ、一人ひとりの将来の目指す進路（進学・就職）を確定させる。各学科とも自己実現に向けた取り組みも加え、必要な情報提供を行い、進路についての調べ学習に積極的・主体的に取り組みさせて進路選択を実行させていきたい。各種の資格・検定取得も同時に取り組ませ、全教職員で一貫した指導を心がけ、一人ひとりの進路保障に向けて努力していく。
- 生徒指導：高校生としての基本的生活習慣の定着を図り、高速及び社会のルール・マナーを遵守し、事故防止と安全・安心な生活が営めるように指導を心がけたい。携帯・スマートフォンの利用は家庭でのルール決めを要請するとともに、過度な使用とならぬように保護者・生徒に呼びかけ、学校では利用の仕方の講演・講話を早期に実施しS、その功罪の学習を通して安全な利用を促進させたい。また、薬物や感染症などの講話も実施し、生徒の健全育成に努めていく。
- 人権意識の向上と尊重、心身の健康管理や実践、読書活動の充実、防災・減災訓練の実施等に取り組み、生徒・保護者・教職員の意識向上と実践力を身に付けるよう検討していく。

令和元年度 学校評価（自己評価・関係者評価）について報告します。

令和2年年5月7日

学校法人 加寿美学園
熊本中央高等学校
理事長 和田 秀雄 様

熊本中央高等学校
学校長 池田 廣

決裁	理事長 和田 秀雄	学校長 池田 廣	教 頭 古澤 哲二	事務長 柴田 徹
----	-----------	----------	-----------	----------